

第 條 (事業主ノ負擔スヘキ保険料額ノ負) 保險料額ノ何分ノ何ハ事業主、何分ノ何ハ被保險者ニ於テ之ヲ負擔ス

第 條 (組合ノ設立アル事業ノ一部ニ付事業) 主ノ負擔割合ヲ増加スル場合ノ規定) 何々ノ業務ニ使用セララル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ハ其ノ何分ノ何、被保險者ハ其ノ何分ノ何ヲ負擔ス

第 條 (少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ付事業) 主ノ負擔割合ヲ増加スル場合ノ規定) 報酬日額何々錢未滿ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ報酬日額何々錢以上何々錢未滿ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔スヘキ額ト同額トス但シ其ノ額カ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔額ハ保險料ノ全額トス

第五章 財 務

第四十一條 豫備費ヲ以テ充ツルコトヲ得ル費途左ノ如シ

- 一 保險給付費
- 二 保健施設費
- 三 何々

第四十二條 準備金以外ノ財産ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理ス

- 一 有價證券ハ郵便局ニ保管ヲ託シ、確實ナル銀行ニ保護預トシ又ハ信託會社ニ信託ス
 - 二 現金ハ郵便貯金ト爲シ、確實ナル銀行ニ預入レ又ハ信託會社ニ信託ス
 - 三 前各號ニ揚タル以外ノ財産ノ管理ハ組合會ノ議決ヲ經タル方法ニ依ル
- 第 條 組合ニ於テ賣買、貸借、請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスルトキハ總テ公告シテ競争ニ付ス但シ契約ノ性質若ハ目的カ競争ヲ許ササル場合、理事ニ於テ競争ニ付スルヲ不利ト認ムル場合又ハ急迫ノ際競争ニ付スルノ暇ナキ場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ル

(備 考)

本規約ニ記載シタルモノノ外健康保險法施行令第二條第三項、第四條第四項、第五條第三項及第百一條ノ規定ニ依リ規約ニ委任セラレタル事項其ノ他必要ト認メラルル事項ハ別ニ條文ヲ設ケテ之ヲ記載スルコトヲ得

二十三 健康保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域

大正十五年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日
昭和三十四年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日
昭和三十四年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日
昭和三十四年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日
昭和三十四年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日
昭和三十四年十一月二十三日	昭和三十四年四月二十三日	昭和三十四年八月二十三日	昭和三十四年九月十四日	昭和三十四年十二月十四日	昭和三十五年一月十一日

健康保險組合同規約例

健康保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域

第一次健康保險審査會

名稱	位置	管轄區域
北海道第一次健康保險審査會	北海道札幌市	北海道
東京第一次健康保險審査會	東京府東京市	東京市
京都第一次健康保險審査會	京都府京都市	京都市
大阪第一次健康保險審査會	大阪府大阪市	大阪府
神奈川第一次健康保險審査會	神奈川縣橫濱市	神奈川縣
兵庫第一次健康保險審査會	兵庫縣神戶市	兵庫縣
長崎第一次健康保險審査會	長崎縣長崎市	長崎縣
新潟第一次健康保險審査會	新潟縣新潟市	新潟縣
埼玉第一次健康保險審査會	埼玉縣浦和市	埼玉縣
群馬第一次健康保險審査會	群馬縣前橋市	群馬縣
千葉第一次健康保險審査會	千葉縣千葉市	千葉縣
茨城第一次健康保險審査會	茨城縣水戸市	茨城縣
栃木第一次健康保險審査會	栃木縣宇都宮市	栃木縣
群馬第一次健康保險審査會	群馬縣前橋市	群馬縣
長野第一次健康保險審査會	長野縣長野市	長野縣
山梨第一次健康保險審査會	山梨縣甲府市	山梨縣
滋賀第一次健康保險審査會	滋賀縣大津市	滋賀縣
岐阜第一次健康保險審査會	岐阜縣岐阜市	岐阜縣
愛知第一次健康保險審査會	愛知縣名古屋市	愛知縣
靜岡第一次健康保險審査會	靜岡縣靜岡市	靜岡縣
三重第一次健康保險審査會	三重縣津市	三重縣
奈良第一次健康保險審査會	奈良縣奈良市	奈良縣
和歌山第一次健康保險審査會	和歌山縣和歌山市	和歌山縣
德島第一次健康保險審査會	德島縣德島市	德島縣
香川第一次健康保險審査會	香川縣高松市	香川縣
愛媛第一次健康保險審査會	愛媛縣松山市	愛媛縣
高知第一次健康保險審査會	高知縣高知市	高知縣
福岡第一次健康保險審査會	福岡縣福岡市	福岡縣
大分第一次健康保險審査會	大分縣大分市	大分縣
佐賀第一次健康保險審査會	佐賀縣佐賀市	佐賀縣
熊本第一次健康保險審査會	熊本縣熊本市	熊本縣
宮崎第一次健康保險審査會	宮崎縣宮崎市	宮崎縣
鹿兒島第一次健康保險審査會	鹿兒島縣鹿兒島市	鹿兒島縣

福島第一次健康保險審査會	福島縣福島市	福島縣
岩手第一次健康保險審査會	岩手縣盛岡市	岩手縣
青森第一次健康保險審査會	青森縣青森市	青森縣
山形第一次健康保險審査會	山形縣山形市	山形縣
秋田第一次健康保險審査會	秋田縣秋田市	秋田縣
福井第一次健康保險審査會	福井縣福井市	福井縣
石川第一次健康保險審査會	石川縣金澤市	石川縣
富山第一次健康保險審査會	富山縣富山市	富山縣
鳥取第一次健康保險審査會	鳥取縣鳥取市	鳥取縣
島根第一次健康保險審査會	島根縣松江市	島根縣
岡山第一次健康保險審査會	岡山縣岡山市	岡山縣
廣島第一次健康保險審査會	廣島縣廣島市	廣島縣
山口第一次健康保險審査會	山口縣山口市	山口縣
和歌山第一次健康保險審査會	和歌山縣和歌山市	和歌山縣
德島第一次健康保險審査會	德島縣德島市	德島縣
香川第一次健康保險審査會	香川縣高松市	香川縣
愛媛第一次健康保險審査會	愛媛縣松山市	愛媛縣
高知第一次健康保險審査會	高知縣高知市	高知縣
福岡第一次健康保險審査會	福岡縣福岡市	福岡縣
大分第一次健康保險審査會	大分縣大分市	大分縣
佐賀第一次健康保險審査會	佐賀縣佐賀市	佐賀縣
熊本第一次健康保險審査會	熊本縣熊本市	熊本縣
宮崎第一次健康保險審査會	宮崎縣宮崎市	宮崎縣
鹿兒島第一次健康保險審査會	鹿兒島縣鹿兒島市	鹿兒島縣

健康保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域

沖繩第一健康保險審査會
沖繩縣那覇市沖繩縣

第三次健康保險審査會

名稱	位置	管轄區域
第二次健康保險審査會	東京府東京市	北海道及各府縣

第三次健康保險審査會

名稱	位置	管轄區域
第三次健康保險審査會	東京府東京市	北海道及各府縣

二十四 健康保險審査會職員旅費手當支給規則

(昭和二年十一月二日 勅令第三百十四號)

第一條 健康保險審査會ノ會長及委員其ノ資格ヲ以テ旅行スルトキハ在職官吏タル者ニハ其ノ本官相當ノ旅費ヲ、其ノ他ノ者ニハ別表ニ依ル旅費ヲ支給ス但シ第三條ノ規定ニ依リ日當ヲ受クル場合ニ於テハ別表ニ依リ日當ヲ支給セズ

第二條 本令ニ依ル旅費ハ會議ノ爲召集セラレタル場合ニ於テハ會議地又ハ會議地ヲ距ル三里以内ノ地ニ居住スル者ニハ之ヲ支給セズ

第三條 健康保險審査會ノ委員其ノ職務ヲ執行シタルトキハ第一次健康保險審査會ノ委員ニ對シ

テハ七圓、第一次健康保險審査會ノ會長及第二次健康保險審査會ノ委員ニ對シテハ十圓、第三次健康保險審査會ノ委員ニ對シテハ十五圓ノ日當ヲ支給ス但シ官吏ニシテ委員タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 本令ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ内國旅費規則ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和二年九月二十日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

別表

種類	第一健康保險審査會委員	第二健康保險審査會委員	第三健康保險審査會委員
及鐵道賃	二	二	二
車馬賃(二日)	七十五錢	九十錢	一圓二十錢
日當(三日)	三	五	六
宿泊料(二夜)	五	八	九
食卓料(三日)	二	二圓五十錢	三

(備考)
鐵道賃及船賃ハ運賃等級ヲ二階級ニ區分スル場合ニハ上級ノ運賃トシ、其ノ等級ヲ區分セザル場合ニハ其ノ乘車又ハ乗船ニ要スル運賃トス

健康保險審査會職員旅費手當支給規則

二十五 口頭審問ノ爲健康保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

(昭和二年四月四日内務省令第二十一號)
(改正昭和五年五月一日内務省令第十五號)

- 第一條 健康保險審査會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス
- 第二條 旅費ハ鐵道賃、船賃、陸路雜費、車馬賃、宿泊料及食卓料ノ六種トシ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ハ實際ノ經路ニ依ル
- 第三條 鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス
鐵道八十五軒以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前項ノ額ノ外普通急行料金を支給ス但シ急行料金を徴セサル線路又ハ航路ニ依ル旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 陸路旅行ニハ一里毎ニ陸路雜費十錢ヲ支給ス但シ片道一里未滿ノ陸路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス
陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

- 第五條 不具、癩疾、傷痕、疾病等ノ爲歩行シ能ハサルトキハ其ノ陸路旅行ニ付テハ一毎ニ車馬賃五十錢ヲ支給ス但シ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス
前項ノ場合ニ於テハ陸路雜費ヲ支給セス
- 第六條 宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス
- 第七條 食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マサルトキ又ハ官用ノ船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキハ一夜ニ付一圓ヲ支給ス
- 第八條 車馬賃ヲ請求セムトスルトキハ不具、癩疾、傷痕、疾病ノ爲歩行シ能ハサル旨ノ醫師ノ診斷書ヲ請求書ニ添附スヘシ
- 第九條 旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス此ノ場合ニ於テハ陸路旅行ニ付テハ第五條ノ例ニ依ル
- 第十條 内國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依ル旅費ノ支給ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和五年五月一日内務省令第十五號)

口頭審問ノ爲健康保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

本令ハ昭和五年四月一日以降ノ旅行ヨリ之ヲ適用ス

二〇〇

二十六 健康保險特別會計法

(大正十五年三月二十九日法律第二十六號
改正昭和四年三月二十八日法律第十二號)

- 第一條 健康保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ
- 第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリ繰入ルル金額、積立金ヨリ生スル收入、借入金及
附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ保險給付費、保健施設費、借入金ノ償還金及其ノ利子、一時借
入金ノ利子、事業取扱費、營繕費、其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス
- 第三條 前條ノ一般會計ヨリ繰入ルル金額ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ル但シ被保險者一人ニ付
一年平均二圓ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ズ
- 前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四條 本會計ニ於テ決算上剩餘金ヲ生スルトキハ之ヲ積立ツヘシ
- 本會計ノ歳計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ
- 第五條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲ス
コトヲ得

前項ノ規定ニ依リ借入ヲ爲スコトヲ得ル金額ハ保險料ヲ以テ保險給付費及保健施設費ヲ支辨ス
ル能ハサル場合ニ借入ルルモノヲ除クノ外最高五百萬圓トス

第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ大藏省預金部ニ之ヲ預入ルルコトヲ得

第七條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲シ又ハ國庫
餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金又ハ繰替金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出
スヘシ

第九條 本會計ノ收入支出及積立金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年三月二十八日法律第十二號)

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

二十七 健康保險特別會計規則

(昭和元年十二月二十九日勅令第四號
改正昭和四年四月一日勅令第三十五號)

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細録ヲ添付スベシ

第二條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣社會局長官ニ命ジテ之ヲ執行セシムベシ但シ他ノ官吏ニ命ジテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入済歳入額及一時借入金ヲ以テ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ズ

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ仍不足アルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ニ對シ一時借入金ニ代ヘ國庫餘裕金ノ繰替使用ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第五條 保險料收入ノ年度所屬ハ其ノ保險料ヲ負擔スベキ義務ノ發生シタル日ノ屬スル年度ニ依ル

第六條 毎年度出納ノ完結迄ニ收入済又ハ支出済ト爲ラザルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歳入又ハ歳出トス

第七條 削除

第八條 健康保險特別會計法第三條第一項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ付テハ健康保險法施行令第九十二條ノ規定ヲ準用ス

第九條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ社會局長官ニ送付スベシ

第十條 社會局長官ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十一條 支出官ハ毎月支出済額報告書ヲ調製シ之ヲ社會局長官ニ送付スベシ

第十二條 社會局長官ハ支出済額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出済額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十三條 毎年度ノ歳入ノ收入済額ヨリ歳出ノ支出済額及翌年度繰越額ヲ控除シタル殘餘ハ總テ

之ヲ積立金ニ組入ルベシ

第十四條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

第十五條 社會局ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ健康保險ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スベシ

第十六條 社會局ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スベシ

第十七條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ

第十八條 社會局ハ歳出簿及支拂元受高差引簿ヲ備ヘ歳出簿ニハ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ

第十九條 本令ニ規定セザルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

附則 本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年四月一日勅令第三十五號)

本令ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

二十八 健康保險特別會計事務取扱規程

(昭和元年十二月三十日內務省調令第二號
改正昭和四年七月三十一日內務省調令第十一號
昭和九年五月二十三日內務省調令第八號)

社會局
府 縣(東京府ヲ除ク)
北海道廳健康保險出張所

第一條 健康保險特別會計ニ關スル事務ハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二條 歳入ノ徵收ニ關シテハ社會局長官、北海道廳長官、北海道廳出張所長及府縣知事(東京府ヲハ替視ス)ヲ歳入徵收官トス

第三條 歳入徵收官ハ保險料、督促手数料及延滞金ノ徵收ニ付テハ徵收補助簿ヲ備ヘ各納人別ニ納人ノ住所氏名、調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及調定濟、收入濟又ハ不納缺

健康保險特別會計事務取扱規程

損處分ノ年月日其ノ他必要ナル事項ヲ登記スヘシ

前項ノ徴收補助簿ハ之ヲ各郡市區別ニ編綴シ其ノ末尾ニ計ヲ附スヘシ

第四條 歳入徴收官ハ領收済通知書(出納官吏拂込ノ分ヲ除ク)、領收済報告書(本規程第十五條ノ規定ニ依リ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スル場合ニ於テハ其ノ原符)及歳入組入報告書ニ基キ收入済額日計表ヲ作製スベシ

第五條 歳入徴收官日本銀行ヨリ領收済通知書及歳入組入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ額ヲ支出官ニ通知スヘシ

第六條 歳入徴收官ハ調定超過ニ依ル過納又ハ調定外誤納ヲ生シタル場合ニ於テハ過誤納額整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、事由、納人ノ住所氏名、還付又ハ充當ノ額末其ノ他必要ナル事項ヲ登記スヘシ

第七條 歳入徴收官ハ健康保險法第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ市町村ニ請求シタル場合ニ於テハ處分請求滯納者整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、納期、請求市町村、滯納者ノ住所氏名、督促狀發付年月日及指定期限其ノ他必要ナル事項ヲ登記シ處理ノ額末ヲ明瞭ナラシムヘシ

第八條 歳入徴收官不納缺損處分ヲ爲シタルモノニ付テハ納人ノ住所氏名、科目、金額、事由及保險料ニ付テハ所屬年月等ヲ記載シタル書類ヲ徴收報告書ニ添付スヘシ

第九條 歳入徴收官ハ會計規則第七十三條ニ依リ歳入徴收額計算書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ會計規則第七十五條ニ依リ其ノ長官ヨリ年三回(自四月至八月、自九月至十二月、自一月至四月各期間分)毎翌月十五日迄ニ會計検査院ニ送付スヘシ

第九條ノ二 歳入徴收官ハ出納官吏、郵便局又ハ日本銀行ニ於テ現金收納後納入告知書又ハ納付書ニ記載セル年度、所管、會計名又ハ款項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ出納官吏、取纏郵便局又ハ日本銀行ニ之ガ訂正ヲ請求スベシ

第十條 保管金取扱規程第十六條及政府保管有價證券取扱規程第二十條ノ主務官廳ハ社會局、北海道廳、北海道廳出張所及府縣(東京府ニ在リ)トス

第十一條 毎年度ノ支拂豫算ハ社會局長官、北海道廳長官、北海道廳出張所長及府縣知事ニ之ヲ令達ス

第十二條 支出官(社會局長官タル)ハ歳入金ノ受入ニ依ル支拂元受高ヲ社會局長官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲シ其ノ旨直ニ社會局長官ニ通知スヘシ但シ差當リ支拂ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 支出官(社會局長官タル)當該年度最終ノ小切手ヲ振出シタルトキハ直ニ其ノ支拂元受高ノ殘額ヲ社會局長官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換シ其ノ金額及當該年度ノ支出済總額ヲ社會局長官ニ通知スヘシ

第十四條 北海道廳長官、北海道廳出張所長及府縣知事ハ別記様式ニ依リ歳入歳出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月十五日迄ニ之ヲ社會局長官ニ送付スヘシ

社會局長官ハ前項ノ報告書及自己ノ取扱ニ依ル分(前項別記様式ニ依ル)ヲ取纏メ歳入歳出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ内務大臣ニ送付スヘシ

第十五條 收入官吏納入告知書ニ依ラスシテ現金ヲ領收シタル場合ニ於ケル領收済報告書ハ現金領收書ノ原符ヲ以テ代用スヘシ

第十六條 出納官吏ノ帳簿及金櫃ノ検査員及立會人ハ出納官吏ニ非サル者ノ中ヨリ之ヲ命スヘシ第十七條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ大正十一年四月内務省訓令第二號會計事務取扱規程ニ依ル但シ同令第十二條及第十七條ニ内務省又ハ内務大臣トアルハ社會局長官トス

附 則

本規程ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和四年七月三十一日内務省訓令第十一號)

本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和九年五月二十三日内務省訓令第八號)

本令ハ昭和九年五月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式

昭和何年度健康保險特別會計歳入歳出決定計算報告書

歳 入

科	日	調定済額	収入済額	不納缺損額	収入未済額	備	考
以							
何	★(款)						
何	★(項)						
計	★(目)						

備考

社會局ニ於テ總報告書調製ノ場合ハ豫算額及豫算額ニ比シ収入済額ノ差額ヲ設置スルコト

歳 出

科	日	豫算額	流用増減額	豫算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
何								
何	★(款)							
何	★(項)							
計	★(目)							

健康保險特別會計事務取扱規程

備考

「流用増減額、不用額及翌年度繰越額アル場合ハ各目ニ付其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スルコト

二一〇

二十九 保険料其ノ他健康保険法ノ規定ニ依ル 徴収金滞納處分ノ爲差押ヘタル物品取 扱方ノ件

(昭和四年八月一日
内務省訓令第十七號)

社會局 廳府 縣(東京府
ヲ除ク)
北海道廳出張所

保険料其他健康保険法ノ規定ニ依ル徴収金滞納處分ノ爲差押ヘタル物品ニシテ其廳ニ於テ保管ス
ルモノハ物品會計規則ヲ準用スルコトヲ指定ス

三十 健康保険積立金運用規則

(昭和五年二月二十七日
勅令第三十四號)

第一條 健康保険特別會計法ニ依ル積立金ハ内務大臣之ヲ管理スベシ

第二條 積立金ハ國債ヲ以テ之ヲ保有シ又ハ大藏省預金部ニ之ヲ預入ルルコトヲ得

第三條 所管大臣ハ部下ノ官吏ニ命ジテ積立金ノ出納ヲ執行セシムルコトヲ得

第四條 積立金ノ出納ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

預金部資金運用規則

大正十四年四月一日勅令第五十五號
改正昭和五年二月二十七日勅令第三十五號
昭和六年八月二十六日勅令第二百二十九號
昭和七年十一月勅令第三百三十三號

第一條 預金部資金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ運用スヘシ

一 國債ノ應募、引受若ハ買入又ハ一般會計ニ對スル貸付

二 地方債若ハ健康保険組合債ノ應募、引受若ハ買入又ハ地方公共團體若ハ健康保険組合ニ對
スル貸付

三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債權ヲ發行スルモノノ發行ニ係ル債券ノ應
募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年内ノ貸付

保險料其ノ他健康保険法ノ規定ニ依ル徴収金滞納處分ノ爲差押ヘタル
物品取扱方ノ件 健康保険積立金運用規則

二一一

四 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ニシテ社債ヲ發行セサルモノニ對スル貸付
 五 外國政府ノ發行ニ係ル國債ノ應募又ハ買入
 六 日本銀行ニ對スル在外指定預金

第二條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ豫メ之ヲ預金部資金運用委員會ニ付議スヘシ其ノ計畫ニ付追加又ハ變更ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

第三條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金運用報告書ヲ調製シ年度經過後四月内ニ之ヲ預金部資金運用委員會ニ提出スヘシ

前項ノ報告書ニハ當該年度ニ於ケル預金部資金運用ノ狀況及運用資産ノ異動ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スヘシ

第四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外預金部資金ノ運用ノ爲必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 預金部資金運用委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ大藏大臣ノ諮問ニ應シ預金部資金ノ運用ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第六條 預金部資金運用委員會ハ預金部資金ノ運用ニ關シ大藏大臣ニ建議スルコトヲ得

第七條 預金部資金運用委員會ハ會長一人及委員十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第八條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 大藏政務次官

二 大藏次官

三 關係各廳高等官

四 會計検査院部長

五 日本銀行總裁

六 學識經驗アル者

前項第三號、第四號及第六號ニ掲クル者ヲ以テ充ツル委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

臨時委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第十條 會長ハ會務ヲ總理ス

預金部資金運用規則

會長事故アルトキハ其ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 預金部資金運用委員會ニ幹事ヲ置ク

幹事ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ大藏部内高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命シ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十二條 預金部資金運用委員會ニ書記ヲ置ク

書記ハ大藏部内判任官ノ中ヨリ大藏大臣之ヲ命ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコトヲ得

昭和四年四月十四日印刷
昭和五年六月九日發行
昭和九年五月十六日增補再版
昭和十九年一月三十一日改訂八版

定價金三十錢

發行者

財團法人

産業福利協會

代表者

蒲生俊文

印刷人

川口芳太郎

印刷所

東京市芝區芝浦町三丁目二番地
川口印刷所

不許複製

發行所

財團法人

産業福利協會

東京市麹町區外櫻田町内務省社會局内
電話 銀座 四四一四
振替口座東京 七四四四七

中華民國二十一年
五月二十一日
...



明匯
升英春

會計

...

...

...

...

實收金三十元

...

...

...

...

47
695



